



2015年9月15日

会社名 J.フロント リテイリング株式会社  
 コード番号 3086  
 代表者名 代表取締役社長 山本 良一  
 お問合せ先 経営戦略統括部  
 コーポレートガバナンス推進担当  
 I R・グループ広報  
 TEL 03-6895-0178

**2015年8月度 J. フロント リテイリング 連結営業報告**

1. セグメント別売上高（対前年増減率：％）

	8 月度	3～8 月度累計
百貨店事業	5.7	1.4
パルコ事業	6.7	4.2
卸売事業	▲ 8.2	11.7
クレジット事業	1.0	▲ 3.2
その他事業	29.4	3.9
連 結 合 計	8.3	2.8

2. 売上高概況

1) 百貨店事業

- ・ 8 月度の百貨店事業の売上高は、上旬の猛暑によりパラソル、サンダル、帽子などのファッション雑貨が活発に動いたほか、好調を持続する訪日外国人客の消費により、ラグジュアリーブランド、宝飾品、化粧品が大幅に売上を伸ばしたことなどから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年6.6%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同5.7%増となった。

2) パルコ事業

- ・ 上旬は猛暑により、ビアガーデンや水着などが好調であったことや、秋色夏素材を中心とした衣料品の売上が堅調に推移したことに加え、下旬は気温の低下とともに初秋物にも動きが見られた。また訪日外国人客の増加により、月を通じて身回品や雑貨の売上が伸長したことなどから、パルコ事業全体では対前年6.7%増となった。

3) その他

- ・ 卸売事業の大丸興業は、電子デバイスが好調を持続したものの、前年の大口売上計上の反動影響が大きく、対前年▲8.2%減となった。
- ・ クレジット事業のJFRカードは、割賦販売手数料や年会費収入などが増加したことから、対前年1.0%増となった。
- ・ その他事業は、J. フロント建装がグループ内外の内装工事の売上計上により大幅増となったことや、人材派遣業のディンプルが好調であったことなどから、対前年29.4%増となった。

お問合せ先	J.フロント リテイリング株式会社	コーポレートガバナンス推進担当 I R・グループ広報
TEL	03-6895-0178	
FAX	03-6674-7565	

## 2015年8月度 百貨店事業 営業報告

### 1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

	8月度		3～8月度累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	21.1	1.5	15.2	▲2.1
大丸 梅田店	2.5	▲13.4	5.2	▲15.0
大丸 東京店	6.6	▲2.0	3.7	▲4.0
大丸 浦和パルコ店	▲2.0	▲4.3	▲4.2	▲4.7
大丸 京都店	2.1	▲10.1	▲0.5	▲12.4
大丸 山科店	▲5.1	▲6.5	▲6.2	▲6.5
大丸 神戸店	6.1	▲3.6	▲1.3	▲9.2
大丸 須磨店	▲2.6	▲9.4	▲5.3	▲12.2
大丸 芦屋店	▲5.2	▲9.6	▲3.8	▲10.0
大丸 札幌店	7.6	▲10.1	4.3	▲10.2
松坂屋 名古屋店	7.1	0.1	0.1	▲4.8
松坂屋 上野店	5.3	▲13.4	▲5.4	▲18.5
松坂屋 静岡店	▲1.6	▲5.4	▲5.4	▲7.0
松坂屋 高槻店	▲3.2	▲13.9	▲5.7	▲17.7
松坂屋 豊田店	2.0	2.5	▲2.2	▲0.3
<b>大丸松坂屋百貨店合計</b>	<b>6.6</b>	<b>▲6.7</b>	<b>2.1</b>	<b>▲9.1</b>
博多大丸	0.6	▲2.7	▲2.6	▲3.6
下関大丸	▲5.4	▲8.3	▲7.0	▲8.3
高知大丸	3.7	7.5	▲4.0	▲0.9
<b>百貨店事業合計</b>	<b>5.7</b>	<b>▲6.3</b>	<b>1.4</b>	<b>▲8.7</b>

### 2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高（対前年増減率：％）

	8月度	3～8月度累計
紳士服・洋品	5.7	2.2
婦人服・洋品	6.2	1.9
子供服・洋品	3.3	1.0
その他の衣料品	▲7.6	▲10.8
衣料品計	5.3	1.3
身回品	3.7	▲1.3
化粧品	29.2	19.8
美術・宝飾・貴金属	23.7	11.7
その他雑貨	31.6	27.4
雑貨計	27.1	16.5
家具	▲8.7	▲18.6
家電	▲10.9	▲8.9
その他の家庭用品	0.4	▲2.1
家庭用品計	▲2.2	▲6.3
生鮮	▲2.6	▲0.3
菓子	▲3.3	▲1.6
惣菜	2.3	1.5
その他食料品	3.1	▲2.0
食料品計	▲0.3	▲0.7
食堂・喫茶	1.5	0.6
サービス	48.2	16.3
その他	11.5	▲1.3
合計	6.6	2.1

### 3. 売上高概況

婦人服・洋品は、ラグジュアリーブランドが前年の3割増となったほか、気温の低下とともにパンツ、ニットなどの秋物衣料にも動きが見られた。紳士服・洋品は、ゴルフウェアやジャケット、ポロシャツなどが好調であった。身回品は、パラソル、サングラスなどが活発に動いたほか、婦人・紳士靴も好調であった。雑貨は、時計が前年の5割増となったほか、化粧品は訪日外国人客の増加により3割増となった。家庭用品は、名古屋店第3期改装工事による売場面積減の影響が大きくマイナスとなった。食料品は、惣菜は好調であったものの、生鮮食品、菓子が前年を下回った。